



「家庭學習MGC」實踐例

姶良市立帖佐中学校



校訓
自主 共同 永続 健康
学校教育目標
自立した生徒の育成

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 規則正しい生活習慣やよりよい学習習慣・運動習慣が生徒たちの自立を高め、学力の基盤となると考えることから、生徒の家庭での生活や学習内容等を生活の記録「別府川」で見取ることを大切にする。
 - ★ 精選した一斉課題を確実に実施するほか、「学習者主体の授業」実践の観点から、学力を定着させる有効な手立てである家庭学習において、生徒が各自で自ら目標を設定し、自分のペースで進めていくような家庭学習の確立、習慣化を促していく。
 - ★ 毎日120分以上（部活動終了後、3年生は180分）家庭学習に取り組ませるとともに、週に1度は家庭での読書を実践する。
 - ★ 学力向上アクションプランに係る帖佐中ブロックの取組をもとに、校区内の小学校と連携した家庭学習を検討し実践する。

帖佐中ブロックの共通実践事項

帖佐中ブロックの取組（帖佐中・帖佐小・建昌小・三船小・松原なぎさ

小中のなめらかな接続をめざして、帖佐中フロックの全小・中学校が連携して取り組んでいます。

- ## ① 学習の構えの確立

- 授業前の黙想を徹底する。(小学校高学年と中学校)。
聽くときは話す人の方に体を向け、しつかり聴く。
書くときは机との距離を意識して、背筋を伸ばして書く。
指名されたら、「はい」と返事をする。
前日に登校の準備を済ませ、忘れ物をしない。

- ## ② 学習環境の整備

- 1 本時で使うものだけを出す。
 - 2 机の中及びカバン棚を整理する。
 - 3 移動時の教室（机・いす）を整理する。

- ### ③ 家庭学習の習慣化

- 1 小学校低学年は40分・中学年は60分・高学年は90分以上、中学校120分(部活動終了後の3年は180分)以上の学習に取り組む。
 - 2 テレビやゲーム、スマホ等の電波を切り、静かな環境で学習する。(携帯電話、スマホ、ゲーム等午後9時電源オフ)

生活のリズムを整え、睡眠時間を確保し、宿題をしっかりする習慣をつけましょう。

「家庭学習の手引き」（姶良市教育委員会）から

○ MGCの取組

【帖佐中学校のMGC】

「生徒の『学びの自立』を育成するために、生徒が主体的に取り組む家庭学習」

★ポイント

- 漢字、英単語や計算の練習等の宿題（一斉課題）を継続的に取り組み、家庭学習の習慣化を図りましょう。
 - 授業で分からなかった問題について、家庭学習で再度挑戦し、ワーク等での定着を図るなど、自分に合った学習を実行しましょう。
 - 得意教科や興味関心のある分野を中心に、家庭学習ではより発展的な学習にも挑戦してみましょう。
 - タブレットを活用して、授業の復習やドリル学習にも進んで取り組みましょう。
 - 教科書等を活用し、単元で学ぶ内容を見通すことや、次時の授業の内容を把握するなど、家庭学習で学習の先取りをしてみましょう。
 - 週末などの家庭学習では、例えば歴史で学習した文化等について、美術ではどのように説明されているかなど、興味関心のある事項について、教科を越えた学びにもじっくりと取り組んでみましょう。
 - 自分で目標を設定して、毎日少しづつ体力づくりを行いましょう。

生徒のやる気を支える・見守る手立て

定期テストの2週間前には、学習計画表を配布して作成します。テストに向け家庭学習の充実を図ります。

「具体的な学習内容」には、ワーク・プリント・問題集等の項目とその箇所（ページ・プリント番号等）、時間・評価・一日の合計・累計は毎日必ず記入。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日の教科連絡		今日の反省
							算数	国語	
11月8日	土	日	月	火	水	木	1		
			具体的な学習内容	具体的な学習内容	具体的な学習内容	具体的な学習内容	2		
							3		
							4		
							5		コメント

生活の記録「別府川」で生徒の家庭学習の様子を見取ります。

午 時 0	就寝 10 時 10 分	検温 36.2 度
午前 家庭学習	理④ 20(15) 数④ 10)	
午後	国④ 15)	
午後 学習	漢字 15)	
午後 学習	英会話 20)	合計学習時間 95 分
午後	就寝 10 時 10 分	検温 36.4 度
午後 家庭学習	理④ 20)	
午後 学習	漢字 15)	
午後 学習		
午後 学習		合計学習時間 35 分